

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームの周辺を出歩く住民も少なく、日常的な交流は少ない。高齢化が進んでおり、町内会から地域行事の案内を受けた際にも、参加できる利用者は限られている。昨年秋祭りの子供神輿が立寄ってくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	地域代表、地域密着型サービスの知見者の出席もあり、幅広い視点から率直な意見が出され、地域交流の重要な場となっている。秋祭りの子供神輿の招へいも実現した。「家族会」以降、家族の参加も増えた。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には、毎回市介護課職員及び地域包括支援センター職員が出席している。介護相談員も毎月来所しており、協力体制は構築されている。生活保護課からは、随時生保受給者の受入れ打診がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「家族会」開催が大きな反響を呼び、運営推進会議への家族参加が増えている。家族アンケートの中に、「何となく行きにくかったが、話をして改善した」との声があった。「職員の異動情報が不足」との声もある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。